日歯生涯研修事業 「IC カード用研修受付ソフト」 操作説明書

日本歯科医師会

「ICカード用研修受付ソフト」操作説明書 (各 OS 共通) Ver. 1.51

1.	「IC カード用研修受付ソフト」のインストールについて	3
2.	「IC カード用研修受付ソフト」の起動	4
3.	研修開始前の準備作業概略	5
4.	研修設定	5
5.	研修受付-テスト	8
6.	研修受付	11
7.	研修受講者数表示	14
8.	データ出力	15
9.	受付データファイルの送信	18
10.	カード読取時の音量を調整する	19
11.	システム操作履歴の表示	20
12.	こまった時は?	22
-	■「1. 研修設定」ボタンが押せない	22
	▮「研修設定」画面が終了できない	22
	カード読取時に音が出ない	22
	■「2. 研修受付-テスト」ボタン または「3. 研修受付」ボタン押下時に、エラーが表示される	22
	■「研修受付-テスト」画面 または「研修受付」画面を表示中に、エラーが表示される	22
	FeliCa ポート自己診断プログラムの起動	23
	uどうしてもうまく動かない	24
	研修会場への出席者が多く、カードでの受付が時間内に終わりそうにない	24

1. 「IC カード用研修受付ソフト」のインストールについて

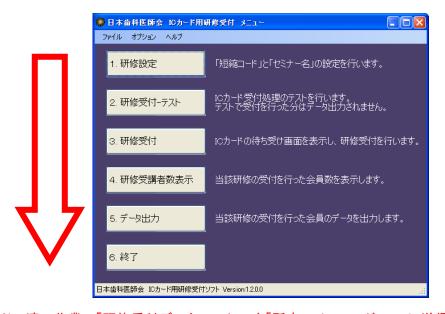
「IC カード用研修受付ソフト」を利用するためには、コンピュータへの「IC カード用研修受付ソフト」のインストールが必要です。

ソフトのインストール方法は、下記「インストール手順書」を参照して下さい。

- ■「IC カード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows 7 用) ファイル名: ICcard_soft_InstallManual_for_Win7.pdf
- ■「IC カード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows 8 用) ファイル名: ICcard_soft_Instal|Manual_for_Win8.pdf
- ■「IC カード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows 10 用) ファイル名: ICcard_soft_Instal|Manual_for_Win10.pdf
- ■「IC カード用研修受付ソフト」インストール手順書 (Windows 11 用) ファイル名: ICcard_soft_Instal|Manual_for_Win11.pdf

【利用時のお願い】

- ☆ 1. ~6. までの一連の作業を終了(可能であれば「研修受付データファイル」を所定のメール アドレスに送信)してから、パソコンの電源を切るように心がけてください。
- ☆ 作業途中でパソコンの電源を切ると、次回電源を入れた時に適切な継続作業ができず、 「勘違い」「誤操作トラブル」「研修受付データファイルの消失」などの原因となります。

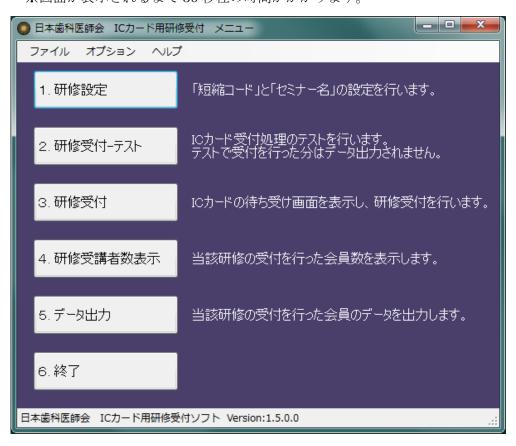


※一連の作業で「研修受付データファイル」を「所定のメールアドレス」に送信できない場合は、 研修会終了後、できる限り早い目の送信をお願いいたします。 (メールの送信方法は、「9. 受付データファイルの送信」を参照して下さい。)

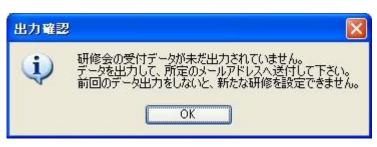
- 2. 「IC カード用研修受付ソフト」の起動
- 2.1. 「IC カード用研修受付ソフト」をインストールし、IC カードリーダをパソコンに接続して下さい。 次に、デスクトップ上の「IC カード研修受付」アイコンをダブルクリックし、起動します。



2.2. 「日本歯科医師会 I Cカード用研修受付 メニュー」が表示されます。 ※画面が表示されるまで 30 秒程の時間がかかります。



★ 前回の研修会後にデータ出力が行われていない場合は、確認メッセージが表示されます。

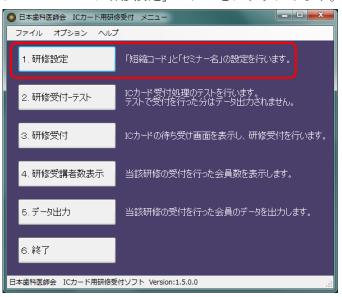


3. 研修開始前の準備作業概略

研修会開催が決定したら、当該研修会の情報を **E-system** に登録し、「短縮コード」を取得しておいて下さい。 次に、本ソフトにて、「研修設定」ボタンを押下し、当該研修の「短縮コード」と「セミナー名」を入力しま す。その後、「研修受付ーテスト」ボタンを押下し、IC カードの読取テストを行います。 以上で、研修開始前の準備は終了となります。

4. 研修設定

4.1. メニューの「1. 研修設定」ボタンをクリックします。



4.2. 研修情報の入力画面が表示されます。

● 研修設定			
研修情報			
短縮コード	1		
セミナー名	xxxxxxt2+-		
研修実施日 主催者用ユーザ ID	2014年 1月22日 ■▼ ※書式:英字大文字2桁+数字7桁 例) AM1234567		
	確定してメニュー 何もせずにメニュー に戻る に戻る		

短縮コード: 当該研修の「短縮コード」を入力します。(半角数字 最大6桁まで)

※ 異なる「短縮コード」を5つまで一度に入力することができます。

セミナー名: 当該研修の「セミナー名」を入力します。(全角文字 最大 80 文字まで)

※ 複数の「短縮コード」を入力する場合は、それぞれ個別の「セミナー名」を 複数入力しても良いですし、複数の研修をまとめるような「セミナー名」を 考え、入力しても良いでしょう。

研修実施日:研修実施日(初日)を選択します。

主催者用ユーザ ID: E-system ヘログインする際に使用する主催者用のユーザ ID を入力します。

- ✓ セミナー名が長すぎる場合、「3. 研修受付」画面で表示しきれない場合があります。「2. 研修受付-テスト」ボタンを押下し、セミナー名が正しく表示されているかを確認し、調整を行って下さい。
- 入力するセミナー名は、E-system に登録されているセミナー名と必ずしも一言一句同じである必要はありません。
- √ 複数の「短縮コード」が入力された場合には、「短縮コード」に重複がないかをチェックします。
- ↑ 「セミナー名」入力の際に、以下の半角文字の使用が禁止されています。 全角文字に変換して使用するなどの対応をします。

¥ / : * ? < > | "

「確定してメニューに戻る」ボタンをクリックした際に、チェックをおこないます。



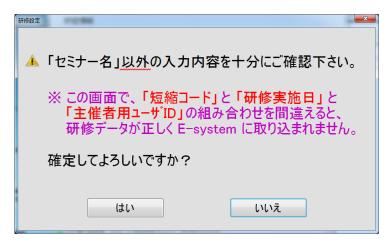
4.3. 短縮コード、セミナー名、主催者用ユーザ ID の入力が終了しましたら、「確定してメニューに戻る」ボタンをクリックします。

入力した内容を破棄し、入力前の状態に戻す場合は、「何もせずにメニューに戻る」ボタンをクリックします。

À

「短縮コード」、「セミナー名」、「主催者用ユーザ ID」を入力しないと、確定してメニューに戻ることはできません。

- 4.4. 「確定してメニューに戻る」ボタンをクリックした場合、確認メッセージが表示されます。 入力した内容を確認し、正しい場合は「はい」ボタンをクリックします。 修正する場合は、「いいえ」をクリックし、入力画面へ戻り正しい内容を入力します。
 - 確認メッセージは2回表示されます。





⚠ 入力した内容は必ず確認して下さい。

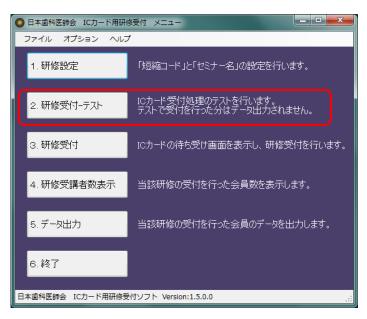
「3. 研修受付」ボタン(「2. 研修受付-テスト」ボタンではありません)を押下して、IC カードを 1 枚でも読み取ると、「1. 研修設定」ボタンを使用することができなくなります。

(「5. データ出力」を実行すると初期状態に戻り、「1. 研修設定」ボタンを使用することができるようになります。)

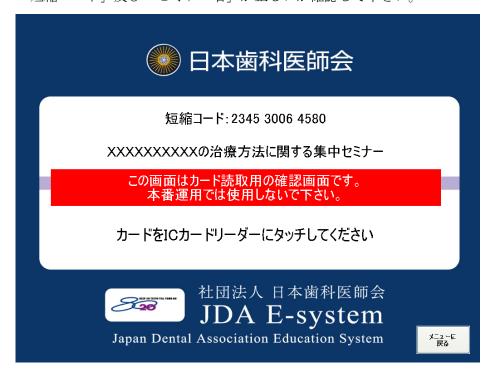
5. 研修受付ーテスト

IC カードが正しく読取れるか、「短縮コード」と「セミナー名」が正しく表示されるかを確認します。

5.1. メニューの「2. 研修受付一テスト」ボタンをクリックします。



5.2. IC カード受付のテスト用の待ち受け画面が表示されます。 「短縮コード」及び「セミナー名」が正しいか確認して下さい。



セミナー名が長すぎる場合、「3. 研修受付」画面で表示しきれない場合があります。 本テスト画面で、セミナー名が正しく表示されているかを確認して下さい。 セミナー名の調整は、「1. 研修設定」画面で調整して下さい。

- 5.3. IC カードをカードリーダにタッチして、正しく読み取れることを確認して下さい。 IC カードが正しく読取れると、読み取り成功のブザー音と共に、下のメッセージが画面に表示されます。
 - ※パソコンの音量設定が小さいとブザー音が聞き取れない場合があります。パソコンの音量を調整したい場合には「10.カード読取時の音量を調整する」を参照して下さい。



「カードの読み取りに成功しました」のメッセージの右横に表示されている番号は、「ID」です。 IC カードに印刷されている「ID」と同じか確認して下さい。

IC カードがうまく読取れない場合は、読み取り失敗のブザー音と共に、下のメッセージが画面に表示されます。



このメッセージはカードリーダに対して IC カードを短い時間しかタッチしない場合に表示されます。 本番の受付け時にこのメッセージが出た場合には、会員の方に、もう少しゆっくりと IC カードをタッチしていただくよう、お伝えいただき、再度タッチするようにして下さい。

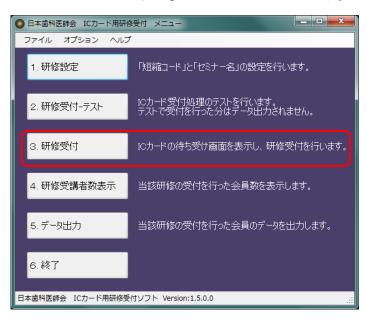
- 5.4. 確認作業が終了しましたら、「メニューに戻る」ボタンをクリックします。
 - 本画面では「短縮コード」及び「セミナー名」が正しいかを必ず確認して下さい。間違っている場合はメニューに戻り、「1. 研修設定」で正しい内容に修正します。修正後、再度、「2. 研修受付・テスト」で確認を行って下さい。

↑ 間違えてこのテスト画面のままで、本番の IC カードの受付を行わないよう、注意して下さい。

6. 研修受付

「研修受付-テスト」にて研修内容に間違いがないことを確認した後、「3. 研修受付」を実施し実際に出席された会員の IC カードを受付けます。

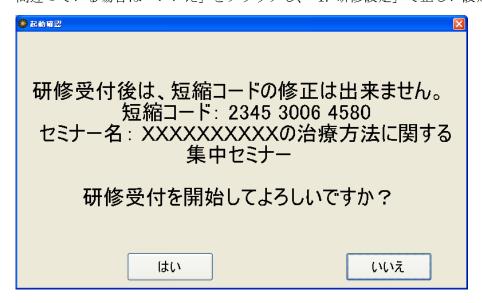
6.1. メニューの「3. 研修受付」ボタンをクリックします。



6.2. 研修内容の確認画面が表示されます。

再度、研修内容を確認し、正しい場合は「はい」をクリックします。

間違っている場合は「いいえ」をクリックし、「1. 研修設定」で正しい設定内容に修正します。



↑ 入力した内容は必ず確認して下さい。

「3. 研修受付」ボタン(「2. 研修受付-テスト」ボタンではありません)を押下して、IC カードを 1 枚でも 読み取ると、「1. 研修設定」ボタンを使用することができなくなります。

(「4. データ出力」を実行すると初期状態に戻り、「1. 研修設定」ボタンを使用することができるようになります。)

6.3. 「はい」をクリックすると、IC カードの待ち受け画面が表示されます。 IC カード受付中は、この画面を表示したままにして下さい。



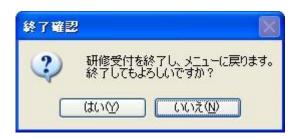
- ② この画面が来場される会員の方に見えるように、パソコンの画面を来場される方向に向けるのもよいで しょう。
- **6.4.** 出席された会員は IC カードを IC カードリーダにタッチして、研修の受付を行います。 受付を行うと、次の画面のように「ID」が画面に表示されます。



- IC カードの受付は、同じ会員が IC カードを何度タッチされても問題ありません。
- ↑ カード読み取り中に IC カードを素早く動かすとエラーが発生する場合があります。 カードは、カードリーダに対して「ゆっくりとタッチして」いただくようにして下さい。
- ★ 読み取り失敗のブザー音とエラー表示がされた場合は、必ずもう一度カードをタッチして下さい。

6.5. 研修会出席会員分の IC カード受付が終了しましたら、「メニューに戻る」ボタンをクリックしてメニューに戻ります。

この時、終了確認の画面が表示されます。カード未入力の会員がいないことを確認し、「はい」ボタンを クリックします。

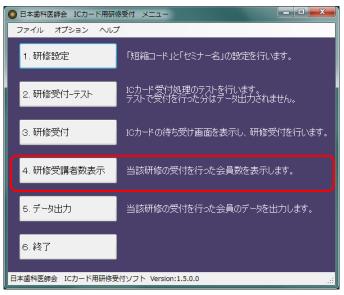


- ↑ カード未入力の会員がおられましたら、「いいえ」をクリックして IC カードの待ち受け画面に戻り、カードを読み取って下さい。
- 終了確認で「はい」をクリックしてメニューに戻っても、再度メニューから、「3. 研修受付」ボタンを押下すれば、当該研修の IC カード受付を続行することが可能です。 但し、「データ出力」を実行すると、当該研修の「研修受付」は終了し、IC カードの受付はできなくなります。

7. 研修受講者数表示

「研修受付」で IC カード受付を行った会員の方の受付人数を表示する機能です。

7.1. メニューの「4. 研修受講者数表示」ボタンをクリックします。



7.2. 受付を行った人数が表示されます。



同じ IC カードを何回タッチしても受講者数には影響がありません。

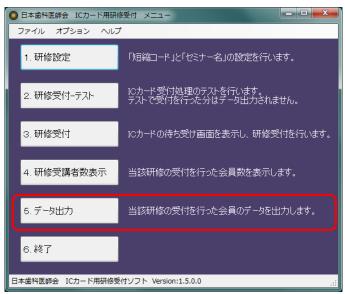
8. データ出力

「研修受付」でICカード受付を行った会員の方の受付データを、ファイルに出力する機能です。

本「データ出力」機能で出力したデータファイルは大事に保管・管理して下さい。出力したファイルは、別途、メールに添付し、ICカード受付データの送信専用の『所定のメールアドレス』に送信します。

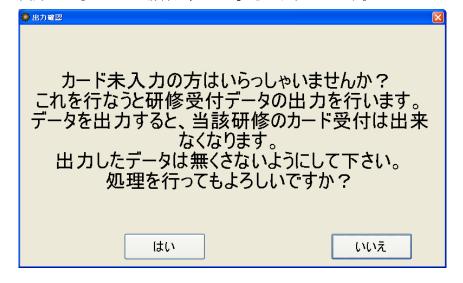
※メールの方法は、「9. 受付データファイルの送信」を参照して下さい。

- 「研修受付」(IC カードの読み取り)がされていない場合は、「データ出力」は行えません。
- ☆ 研修が終了しましたら、必ず「データ出力」を行って下さい。
 「データ出力」を行わないと、次の研修の「研修設定」を入力することはできません。
- 8.1. メニューの「5. データ出力」ボタンをクリックします。



8.2. 確認メッセージが表示されます。

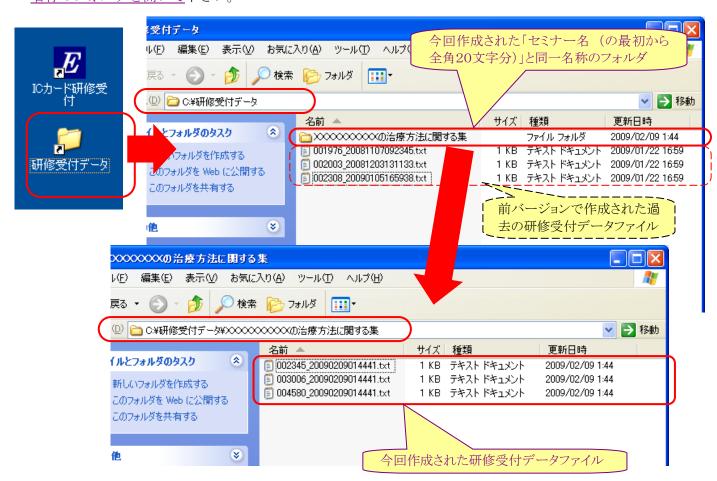
出力してもよろしい場合は、「はい」をクリックします。



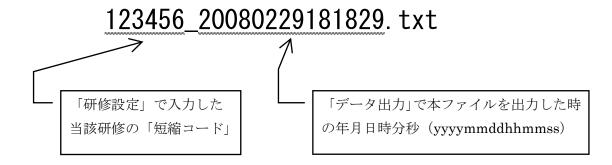
↑ カード未入力の会員がいらっしゃらないか必ず確認して下さい。 ここで「はい」をクリックしてファイル出力を行うと、当該研修の IC カード受付は出来なくなります。 8.3. データ出力終了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



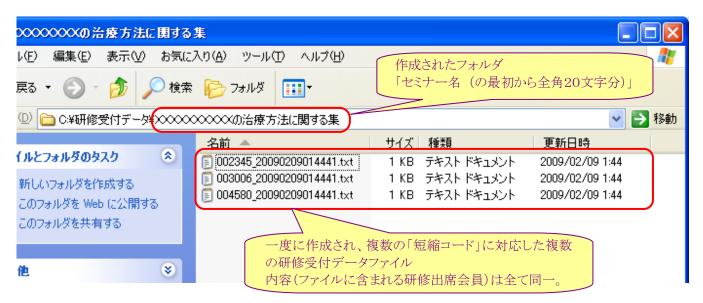
- 「C:¥研修受付データ」フォルダの中に、<u>毎回「フォルダ」を作成して、そのフォルダの中に受付データファイ</u>ルを出力します。
 - (前バージョンでは、「C:\Jでは、「C:\Jでは、「C:\Jでは、」では、「C:\Jでは、「C:\Jでは、「C:\Jでは、「C:\Jでは、」では、「C:\Jでは、「C:\Jでは、」では、これには、「C:\Jでは、」では、「C:\Jでは、「C:\Jでは、「C:\Jでは、」」では、「C:\Jでは、「C:\Jでは、「C:\Jでは、」」では、「C:\Jでは、「C:
- 毎回作成する「フォルダ」の「名称」は、先に「1. 研修設定」で入力している、「セミナー名 (の最初から全角20文字分)」と同じ名称で作成されます。
 - ※ このフォルダ作成機能は、大量に保存される「研修受付データ」ファイルを整理・管理する際の、判読性の向上を目的としています。
- 8.4. 終了メッセージに表示されたフォルダに、受付データが「ファイル」として出力されます。 出力されたデータファイルを確認するには、デスクトップ上の「研修受付データ」フォルダをダブルクリックして、フォルダを開き、<u>更に、今回作成された「セミナー名(の最初から全角20文字分)」と同一</u>名称のフォルダを開いて下さい。



出力されるファイルの名称ルールは以下のとおりです。



「1. 研修設定」で複数の「短縮コード」を設定した場合には、複数の「短縮コード」に対応した複数の「研修受付データファイル」が一度に作成されます。



デスクトップ上の「研修受付データ」フォルダを開くと、過去当該パソコンで出力した研修受付ファイル、あるいは、「セミナー名(の最初から全角20文字分)」の名称を持つフォルダが複数見えてきます。

このフォルダに入っている各研修受付ファイルとディレクトリを、コピーしたり、移動したりしても、問題はありません。

ファイルの管理や整理のために、別途フォルダを作成し、そこにファイルをコピーまたは移動されてもよいでしょう。

⚠ 出力された「研修受付データファイル」に対する、以下の操作は禁止となります。

- ×ファイル名称の変更。
- × ファイル内容の変更。

9. 受付データファイルの送信

出力したファイルは、E-system の機能により主催者自らが履修の登録を行います。 詳しくは、「E システム利用マニュアル」の「4. 研修会主催者へのご案内」、「4. 4. 履修データを登録する」をご参照ください。

本「IC カード用研修受付ソフト」を動かすパソコンがインターネット接続されておらず E-system が使用出来 ない場合には、USB メモリスティック等を利用して、当該の 「 IC カー ド受付データファイル 」 (例: 123456_20080229181829.txt) を、インターネットが使用できるパソコン にデータを移して、そのパソコン から取込みをおこなって下さい。

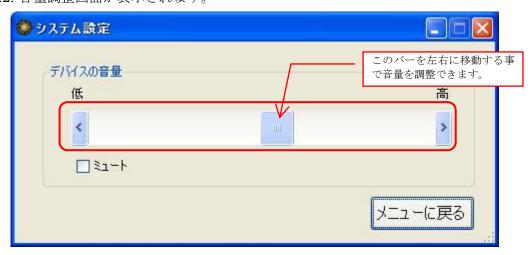


10. カード読取時の音量を調整する

10.1. [オプション] --[システム設定(音量など)]を選択します。



10.2. 音量調整画面が表示されます。



- ① バー移動時にテスト用の音が鳴ります。バーを左右に動かし、音量を調整して下さい。
- ② ミュートにチェックが付いている場合は、音が鳴らなくなります
- ③ 「メニューに戻る」ボタンをクリックします。

パソコン本体の物理的なボリュームも調整して下さい。

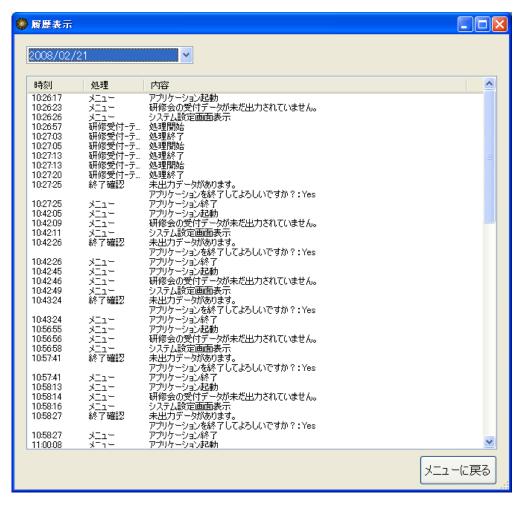
11. システム操作履歴の表示

この機能は「IC カード用研修受付ソフト」に障害が発生したと思われる際に、「過去の操作」が正しかったかを確認する場合に使用します。 通常の運用時には利用しません。

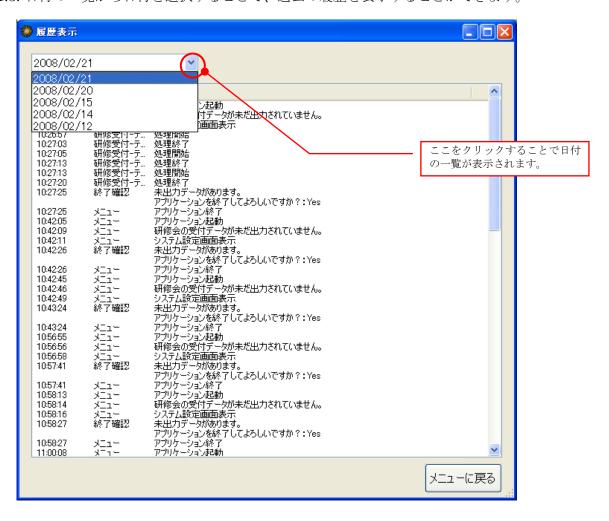
11.1. 「オプション」―「システム操作履歴表示(障害時に使用)」を選択します。



11.2. 履歴表示画面を表示します。



11.3. 日付の一覧から日付を選択することで、過去の履歴を表示することができます。



12. こまった時は?

■「1. 研修設定」ボタンが押せない

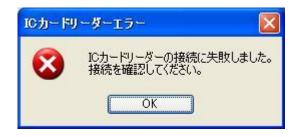
「3. 研修受付」で、IC カードの受付を 1 人でも行うと、「5. データ出力」を行うまで「1. 研修設定」ボタンは利用できません。

■「研修設定」画面が終了できない

「短縮コード」または「セミナー名」が未入力の場合は、「確定してメニューに戻る」ボタンを押してもエラーが表示され、終了することはできません。メッセージに従い、「短縮コード」と「セミナー名」を入力して下さい。

■カード読取時に音が出ない

- ・ [オプション] --[システム設定]で音量を調整して下さい。ミュートにチェックが付いていませんか?
- ・ パソコン本体の物理的な音量が小さくなっていませんか?
- ■「2. 研修受付-テスト」ボタン または「3. 研修受付」ボタン押下時に、エラーが表示される



ICカードリーダが正しく接続されていない場合に表示されます。次のことを試してみてください。

- ICカードリーダがパソコンに接続されていなければ、接続する
- ・ USB ケーブルを抜き差しする
- ・ USB HUBを使用している場合は、パソコンに直接接続する
- 「FeliCa ポート自己診断プログラム」でICカードリーダが正しく動作していることを確認する (下の、 ■FeliCaポート自己診断プログラムの起動 を参照)

■「研修受付-テスト」画面 または「研修受付」画面を表示中に、エラーが表示される

カードリーダに対して IC カードを短い時間しかタッチしない場合には、下のエラーが表示されます。 再度、IC カードをゆっくりとカードリーダにタッチしてください。



IC カードリーダが正しく接続されていない場合、次のエラーが表示されます。

上記、■「2. 研修受付-テスト」ボタン または「3. 研修受付」ボタン押下時に、エラーが表示される と同様のことを試してみて下さい。

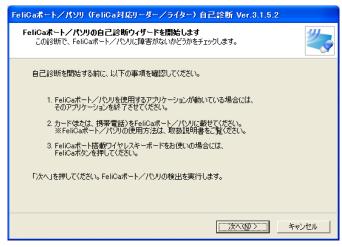


■FeliCa ポート自己診断プログラムの起動

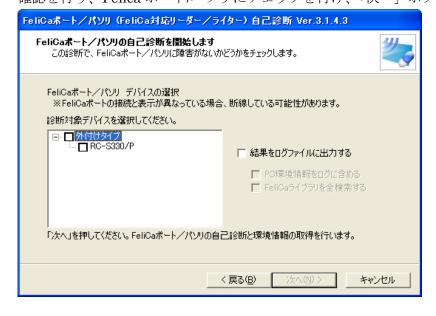
(株) ソニーが提供する、FeliCa ポート用の自己診断プログラムです。

パソコン画面左下にある「スタート」ボタンから実行します。

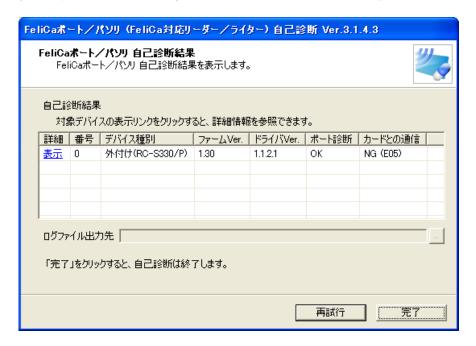
- 1. [スタート]-[プログラム]-[FeliCa ポート]-[FeliCa ポート自己診断]を選択して起動してください。
- 2. 次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



接続されている Felica ポート/パソリの一覧が表示されます。
 確認を行う、Felica ポート/パソリにチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。



4. 自己診断が開始され、正常に動作している場合は、次の画面が表示されます。 次の画面が表示されれば、FeliCa ポート/パソリが正しく設定されています。



■どうしてもうまく動かない

ご質問等は、 esystem_support@jda.or.jp のメールアドレスにお送り下さい。

■研修会場への出席者が多く、カードでの受付が時間内に終わりそうにない

研修会場に「IC カード用研修受付ソフト」をインストールしたパソコンを複数台設置して、分散して IC カードの受付を実施することができます。

会員は、会場に設置されたどれか1つのパソコンでカードを読ませれば良いことになります。

この場合は、研修終了後、複数台のパソコンから複数の「IC カード受付データファイル」を収集して、E-Systemにて取込みを行います。

会員が会場に設置された異なる複数のパソコンに対してICカードをタッチされたとしても問題はありません。

以上